



わになって

幕別町発達支援センター

令和8年度

第4号

令和8年 10月 19日発行

楽しかった夏のひとときが過ぎ、すっかりと秋色に染まってきました。秋と言えば、「食欲の秋」ですね。旬のサツマイモや栗、キノコなど、この時期ならではの恵は栄養も満点です。ご家庭でもぜひ、「これは秋の食べ物なんだよ」とお話ししながら、実りの秋をおいしく楽しんでみてください。



発達支援講演会のお知らせ



保護者や学校などの子どもを取り巻く関係機関が連携をはかり、子ども一人ひとりが大切な存在として生きられる社会をつくるとともに、自立に向けてどのような関わりが大切なのかを講演していただきます。

テーマ 「その子らしい未来を支えるために～保護者と関係機関に求められる支援と連携～」

講師 しふや ひろし 渋谷 宏 さん（帯広養護学校教諭）

日時 11月27日(金) 午後6時30分から8時00分まで

場所 札内コミュニティプラザ（集会室1・2）

忠類ふれあいセンター福寿（幕別町発達支援センター忠類分室にて同時配信）

申込 11月25日（水）までに、電話、メール、チラシに記載のQRコードでお申し込みください。

＊詳細は、**発達支援講演会についてのチラシ**をご覧ください。

参加無料

託児あり

サポートファイル まっく・りんぐ



ライフステージに応じた切れ目のない支援を受けられるよう、保護者の方が記入・保管し、各関係機関と連携を図っていくためのファイルです。お子さんの成長の様子、得意なこと・苦手なこと、成長の過程などを記入します。保育所や幼稚園、学校、発達支援センターなどで相談した内容や、検査結果をファイルしておくことで、必要な時にすぐに見返したり、説明したりできます。

※面談、個別支援計画の説明の際には必ずお持ちください。

子どもの育ちをささえる親の会(カラフル) 座談会のお知らせ

第3回目の座談会を **11月5日(木)18時30分** から札内コミュニティプラザで行います。

今回は、子ども達の放課後の過ごし方について、幼児から中高生までを育てている保護者の方と色々な目線でお話できたらと思います。

託児もありますので、ぜひご参加ください。

※詳細は、棚入れしたチラシをご確認ください。

☆参加された保護者の方の感想☆

- ・あっという間の時間でしたが、皆さんの色々を聞けて良かったです。
- ・初めての参加でしたが、あたたかい雰囲気でお話できてとても良かったです。
- ・日々のストレスを発散できました！
- ・とても有意義でした！また次回も楽しみにしています。
- ・席替えなどもあり、色々な方とお話できて良かったです。いつも時間が足りないです。

おねがい

＊療育室内の音声聞き取りづらい方は、ヘッドフォンの使用が可能です。近くの職員にお伝えください。

＊観察室が保護者同士の大切な情報交換や悩みの共有の場になっていると思われませんが、観察室での会話については、声のトーンなど周囲の方への迷惑とならないように十分配慮をお願いします。

＊センター内の絵本や玩具を破損してしまった場合は、必ず職員に声をかけてください。

『姿勢を保つ～きをつけ ピッ～』

文：江波

食事の時や授業中の姿勢について相談を受けることがあります。“体幹が弱くて姿勢を保てない子どもが増えている”と聞くことも多いです。姿勢を保つとは、どういうことか作業療法士の視点から3つのポイントに絞ってお話しします。

①姿勢を保つ筋力がある。

“体幹が弱く、”がここに当てはまると思います。走ったり、跳んだり、止まったりして身体を大きく動かしたり、不安定な中でバランスをとることで成長していきます。生活の中では、できるだけ寝転がらずに座る、立つて行うなどを意識すると良いでしょう。

②自分の姿勢がどうなっているか気が付く。

脳の中には、身体の傾きや自分の姿勢を感じるセンサーがあります。踏ん張ったり、しがみついたり、ブランコの様にたくさんの揺れを感じたりすることで成長していきます。また、利き手が決まることにも影響します。狭い所を潜ったり、あえて不安定なところを歩くなどを意識すると良いでしょう。

③お尻が椅子に付いていることがわかる。

ヒトの皮膚には物の触り心地や圧を感じるセンサーがあります。色々なものに触れて違いを感じたり意識したりすることで育っていきます。椅子に滑り止めシートを敷いて座っている感覚をわかりやすくすることも一つの方法です。



姿勢が保てない時には、「やる気がないからだ！」や「姿勢をきちんとしなさい！」と言われがちです(自分も言われていました)。さらには、「もっと上手に字を書きなさい…」とも。姿勢が保てているように見えても、もしかしたら子どもの中ではバランスボールに座っているような不安定な状態かもしれません。そのような状況で字を書いたりご飯を食べたりしても上手にできなくて当然だと思います。

姿勢を保つためには、全体的な身体の土台ができていなくてははいけません。アスレチックのような全身を使って遊ぶことで身体と脳の成長をはぐくむことが大切です。今は姿勢を保つのを助けてくれるグッズもたくさんあります。年齢やお子さんの状態に合わせてお助けグッズを使用するのも大切なことだと思います。ただ、使い方が適切でなかったり、依存してしまうと、発達を妨げてしまう事にもなりますので注意が必要です。

※お子さんの様子で気になることや心配がございましたら各担当にご相談ください。

おうちで
できる！

ことばであそぼう！

文：西村

お子さんのペースに合わせて、様々なことば遊びにチャレンジし、遊びの中でことばを育てていきましょう！

オノマトペ遊び

0～1歳編

「わんわん」「ザーザー」等、音や様子を表すことば(オノマトペ)を使い、体を動かしたり、絵を見たりしながら声に出してみましょう。

【こんな遊び方も！】
声、動き、表情のまねっこ

大人の顔を見たり、
声を聞いたりする
ことを楽しみましょう



何がないかな？ゲーム

2～3歳編

並んだ物をよく見て、何がなくなっただか当てるゲーム。いろいろな遊び方を親子でやってみましょう。



【こんな遊び方も！】
隠す物を1つ→2つと難しくする

「あたった！」等、大人と一緒に遊ぶことを楽しみましょう

仲間あつめ

4～5歳編

大人とやり取りをしながら〇〇の仲間をあつめてみましょう。
動物⇒いぬ、ねこ、ライオン
果物⇒りんご、みかん、ぶどう

【こんな遊び方も！】
しりとりで様々なことばをつなげていく

大人と一緒に考え、楽しみながらやり取りをしましょう



ことばは、心と心をつなぐ楽しいコミュニケーションの1つです！

ことば遊びは、正しく答えなくてはと難しく考えるのではなく、一緒に楽しむことが大切です！